



ワイン



ジュース

シリーズ——⑦
わが町再発見

ワインまつり

すっかり秋の風物詩として、おなじみになった朝日町ワインまつり。今年も秋分の日に「朝日町ワイン」一千四百リットル、「朝日牛」一トンが二千八百人の買袋を満腹にしました。



広報

あさひまち 10

ASAHI-MACHI

1993
OCT.
月号
NO.443

いま、バス運行を考える

公共交通機関の現状と課題

昨年の十二月に町議会総務建設常任委員会より「公共交通網の整備について」という報告が議会に行われました。その内容は、交通弱者といわれる高齢者や学生たちのために公共交通としてのバスは必要とし、現在町で運行している町営バス、スクールバス、園児バスを将来は一本化する方向で早急に検討することとしています。

町営バス白倉線が開設されて八年目を迎える。今月は、バス運行の抱える現状と課題について考えてみます。

町営バスはわたしたちの頼りになる足

午前十一時二十五分、役場前

「います」と長岡伸雄さん（太郎）一）は話します。

「普段はおとうさんに乗せて来てもらうのですが、今日は都合が悪いのでバスを利用しまし

た」と、語るのは長岡澄子さん（太郎三）。

いつもこんなにお客様がいるのかと思つて、運転手の大竹賢一さんにたずねてみました。

「いつもより少し多いようですが、朝の便で宮宿に来て用事

のバスがあるので大変助かって二週間に一回ぐらいの割り

で、朝日病院に来ているが、このバスがあるので大変助かって

乗客減少しつづける

この町営バス白倉線は、昭和

六十一年六月七日からそれまで

あつた山形交通立木線の廃止に伴い運行されるようになりまし

た。それまで運行されていた立

数人が乗り込み、二十九人乗りのマイクロバスはたちまち満員となりました。

木線は、昭和五十九年度の平均乗車密度が四・八人と五・〇人

人、四年度が三・五六人と徐々に減少し、ここ二年間は四人を割り込んでいる状況です。これ

を済ませた人達が利用しやすい時間なのでしょう。この便は、結構利用されるようです」と話してくれました。

また、ある利用者は「山形交通のバスと違つて、比較的乗り降りの多い役場や病院では玄関

前まで行つてくれるのに、わたしたちは大変助かっています」と、町営バスならではのサービスのよさを話してくれました。

高齢者で車を運転できない方にとって、バスは無くてはならないものとなつていています。

前まで行つてくれるのに、わたしたちは大変助かっています」と、町では、沿線住民の存続を願う強い要望もあり、さまざまな角度から検討を行いました。その結果、現在のような町営バスの体系が最もよいと結論に達し、今日まで運行されているのです。

開設当初は、平均乗車密度も四・六人とまずまずでした。しかし、過去三年間の乗車実績を振り返つてみると平成二年度が四・二八人、三年度が三・八六人、四年度が三・五六人と徐々に減少し、ここ二年間は四人を割り込んでいる状況です。これ



町営バス白倉線は沿線住民にとって大切な足

全国的な バス離れ現象

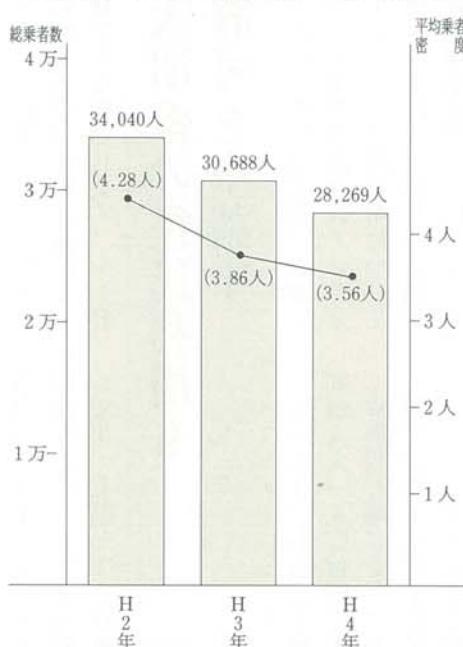
平成四年度版の運輸白書によると、全国でのバスの輸送量は昭和四十五年のピーク時の六五パーセント程度に落ち込んでいます。特に、全四十二事業所が赤字であるとしています。

農山村では人口が減り、利用者のものが減少したうえ、自家用車の普及により、さらに利用者が減るという構造的な問題

平成四年度の収支状況を見ると収入金が八百八十六万四千七

ては町の一般会計から繰り出しを行なっています。

町営バス白倉線利用者数



$$\text{※平均乗車密度} = \frac{\text{輸送人員} \times 1\text{人平均乗車キロ}}{\text{走行キロ}}$$

は人口の減少や自家用車の普及の冬期間のスキーパスの利用の減少によるなどが主な原因と考えられます。

五百円、支出金が九百十八万八千七百五十八円となり、差し引き三十二万四千五十三円の赤字となっています。赤字分について

に直面していると白書は説明しています。わが町の状況と全く同じことが、全国的にも見られます。

わが町のような農山村では、どちらかというと、自家用車を中心とした交通体系にならざるを得ない状況ですが、一方で車の運転できない高齢者や生徒がいるという現実があります。そういう方の足の確保は、何とかしなければなりません。

そこで、国や県では公共性の高いバス路線に対して、地方バス路線維持費補助金制度というもので補助金を出し路線の維持に努めています。もちろん、わたしたちの町営バスもこの制度

の運転できない高齢者や生徒がいるという現実があります。そういう方の足の確保は、何とかしなければなりません。



(上)：西部地区民の足としてかかせない町営バス

(下)：1日1往復のスクールバス（水本線）

見ると、住民の方が乗車して支払った利用料金は十九万八千七百三十円、一日平均二・一人の利用となっています。利用料金だけで経費すべてを賄うことはできないため、住民利用にかかる経費から利用料金を差し引いた残金を水本、下芦沢両区から協力金として支出いただいています。

このスクールバス利用について、水本の岡崎惣一区長さんは「夏期間はお年寄りたちの利用

には、中学生の通学用バスでは月から始められました。

水本（宮宿間）10・2キロメートルで大人一人四百円の利用料金です。運行回数や運行時間には、中学生の通学用バスでは月から始められました。

水本（宮宿間）10・2キロメートルで大人一人四百円の利用料金です。運行回数や運行時間には、中学生の通学用バスでは月から始められました。

水本（宮宿間）10・2キロメートルで大人一人四百円の利用料金です。運行回数や運行時間には、中学生の通学用バスでは月から始められました。

さらに、町では大沼、大暮山両区から要望の出されていたスクールバスの住民利用についても検討を重ね、文部省や運輸省に許可申請を行っています。申請が下り次第利用していただきます。

大沼線については、大沼から滝ノ沢、大暮山を経由し大谷、宮宿と来る一四・六キロの距離

大沼線の住民利用も許可を申請中

がほとんどのようです。でも、冬になると朝日分校に通学する生徒たちも利用します。少し経

費がかかりますが、タクシーを利用することを考えれば安いものですね」と話してくれました。

になります。料金は大沼（宮宿間）が大人一人五百円です。送橋（宮宿間）と同じように大谷（宮宿間）と競合する区間にいては、乗車することができます。

スクールバスの住民利用について、大沼の小林昭次郎区長さんは、「区民からスクールバスを利用できないかという声があり、

を運行しています。また、運行時間や運行回数、停車場所など

も工夫し、できるだけ効率的な運行を心がけてきました。

スクールバス 水本線の利用

スクールバス住民利用料金表

(単位 円)

■水本線

	待 公 民 館 前	
	水 本 公 民 館 前	100
下芦沢	100	200
送 橋 整 備 前	100	200
古 模	100	200
四ノ沢	200	300
朝日中	300	400

■大沼線（予定）

	大 沼 公 民 館 前	
	大 沼 公 民 館 前	100
滝ノ沢	100	200
大暮山 公 民 館 前	100	200
北 部 公 民 館 前	200	300
朝日中	400	500

*大人1人の料金です。

平成4年度 山形交通路線バス状況

路線名	平均乗車密度	運行回数	赤字額
宮宿～山形(大蕨)線	5.5人	4.0回	9,516,708円
宮宿～大瀬線	5.0	4.0	1,576,937
宮宿～山形線	10.3	3.0	1,162,263
宮宿～寒河江線	8.6	9.5	887,332

*赤字分については、国や県の補助制度を利用し補てん。町から支出されているのは、大蕨線と大瀬線の赤字の一部分です。

そのほかに、山形交通が運行しているバス路線は町内に四路線あります。

平成4年度の宮宿～山形線と宮宿～寒河江線は、平均乗車密度が一〇・三人と八・六人では安定した乗車密度を確保しています。しかし、宮宿～大瀬線(乗車密度五・〇人)と宮宿～山形(大蕨)線(乗車密度五・五人)には、町から補助金を支出し存続を図っている現状です。

特に宮宿～大瀬線については、昭和六十一年度から乗車密度が五・〇人を割り込み廃止対象路線となりました。町では沿線住民の足を確保するため、地元と一緒にとなつた対策協議会を設立し利用の向上に努めてきました。今年度についても、乗車密度五・〇人を確保するため地元からの協力金と町からの多額の補助金

が実現されました。この結果、大蕨線と大瀬線の乗車密度が増加しました。

バスは人を乗せて運ぶという輸送機能のほかに、走っている

といふ存在的な機能があるよう

に思われます。わが町のようないい處は、農山村では、衣、食、住は整つ

ているものの都市に比べ、情報関としてのバスの役割を十分認識し、進んで利用していただかなければなりません。すなわち、存続の鍵は私たちの利用にかかる

大暮山と合同で、運行した場合利用するかどうかのアンケート調査を実施しました。その結果八〇%以上の方が利用したいと願いをしたところです」と経過について話してくれました。また、「許可が下りて運行が開始さ

厳しさます民間の路線

れば、医者などに通つてている人は片道だけでも利用できるので大変よいことだと思います。高校生の通学などにも利用できるのではないでしようか」と「スクールバス利用にかける地元の期待は大きいようです。

町営バスや宮宿～大瀬線については、沿線の地元住民のみなさんから協力金という形で一戸二千円を上限としてご協力をいたしております。

また、スクールバス運行地区については、これまで必要経費から利用者が支払う利用料を差し引き、残りを地元の協力金としてお願いをしていました。今回、大沼線のスクールバス利用が行われることになり、スクールバス運行地区の協力金の見直しが行つた結果、今年から年間一戸当たり千円の定額の協力金をお願いすることになりました。

これは水本線も同様で、これまでより協力金が少なくなることになりま

今後のバス運行

を支出し、存続を図つて行くことになつています。

町民みんなで考えよう

し、集落の維持に寄与して来たとも言えます。そういうことで、町ではこれまで補助金を支出し存続を図つてきました。

しかし、山交の宮宿～大瀬線、宮宿～大蕨線などには町から多額の補助金を支出している訳で、利用客が年々減少する中で存続を図ることは、町からの支出が増高することにつながります。限られた町の予算でどこまで町費の支出が可能かについては、議会や町民のみなさんと十分協議して決めなければならない問題といえます。

今後沿線のみなさんの足として存続を図るには、何といつても住民のみなさんが公共交通機関としてのバスの役割を十分認識し、進んで利用していただかなければなりません。すなわち、存続の鍵は私たちの利用にかかる

バス運行については、町民みんなで考える大切な時期に来ているのではないか。

町議会

9月定例

一般
町政報告

一般経過報告

九月定例町議会が九月十六日から二十一日まで開会されました。平成四年度の一般会計、特別会計、企業会計の決算の承認や人事案件など六の議案が上程され、すべて原案どおり可決されました。主な内容は次のとおりです。

人事

・町教育委員の任命同意

九月三十日で任期満了となる五十嵐豊田氏（中沢・72歳）の後任に、白田和好氏（大谷一・38歳）が新教育委員に任命同意されました。

・固定資産評価審査委員の再任同意

九月十九日で任期満了となる、現委員の阿部誠氏（大谷一・60歳）が再任同意されました。

■平成四年度各会計の決算認定

平成四年度一般会計並びに集落排水事業、朝日自然観事業、国民健康保険、老人保健の四つの特別会計と水道、病院事業の二つの企業会計の決算が認定されました。

■補正予算

一般会計（第二号）歳入歳出にそれぞれ三億六千七百五十万円を追加し、総額で五十四億六千六百五十万六千円となりました。

▼支出の主なもの

産者に十万円の祝い金を贈呈していますが、七月、八月、九月にそれぞれ三名の方に交付したところです。

宮宿中郷地区住宅団地と雇用促進事業団のアパート建設用地落札されました。工期は十二月十五日までとなっています。ま

ましたところ、一般行政職に十名、技能労務職に八名の応募がありました。一般職については九月十九日に学科試験を実施し、さらに二次試験を行い若干名の採用を予定しています。

本年度分の普通交付税の算出が終了し、二十四億五千五百十万円となり、前年度比一億五・七%の伸びとなりました。

【企画情報課】
山形交通の宮宿大瀬線は、数年前から廃止対象路線となっていましたが、町から補助金を支出し存続してきました。今年度につきましても、宮宿大瀬線対策協議会で検討していただいた結果、「補助金を出してても存続を願うべき」とのことから、百九十七万円の補助金を支出し存続をお願いしたところです。

【建設課】
清水工業団地への県道からの取り付け分の用地交渉がまとまり、年度内に着工すべく準備中です。

六月定例会以降の工事発注状況は町道改良二件、災害復旧五件、公園事業一件の合計八件で六千百八十万円となっています。

■農林課

農作物の作況については、六月上旬からの低温、日照不足などにより水稻、りんご、ぶどう、葉たばこの品質低下が心配されます。

本年度より、第三子以降の出

町の転作配分面積は一三七ヘクタールですが、各農家のご協力により一三九ヘクタール、一〇一・四%の達成となる見込みです。

県営の長根地区農免農道整備事業と焼野地区開拓地整備事業については、七月三十日に入札

と活性化施設などの全体測量を発注しています。

県営事業以外の所管事業の発注状況並びに工事の進捗は、順調に進んでいます。

■保健課

検診事業については、八月末で昨年度とほぼ同じ二千三十九人の受診となっています。

合併処理浄化槽の設置状況は、今年度の予定数七十基に対し、申し込み数が六十七基で、そのうち四十基が設置済みです。

資源の再利用を進めるため、子供会の資源回収に対する補助金を交付したいと考えています。

■住民課

ふれあい福祉基金は、平成三年度に条例化し三千六百万円でスタートしました。平成五年三月末現在の積み立て額は、一億九百五十万円となっています。



定住対策のひとつとして期待される中郷住宅団地

現在町では、人口減少に歯止めをかけ一人でも多くの方に定住していくため、定住化促進条例を設け、さまざまな施策を展開しています。それらを一層強力に進めるため、十月一日付で企画情報課内に定住係が新設され、二名の職員が配置されました。

主な業務は、後継者対策や都会からの転入者の受け入れ、都市との交流など、人口増に結び付けられる具体的な事業を展開することについています。

定住係を新設

企画情報課内に2名配置

人事

10月1日付

【管理課】
大沼分校建築については、現校舎地を中心とした場所を予定地として諸調査を進めています。

企画情報課に定住係が設置されたのに伴い、十月一日付で職員の人事異動が行われました。

朝日中学校スクールバス大沼線の住民利用については、九月一日からの実施を目標に諸手手続きを完了致しました。しかし、まだ許可が下りない状況です。

一日も早く、住民の方の利用に供したいと考えています。

【生涯学習課】

石田渕公民館建設は、七月九日に入札し一千五百二十四万四千円で落札され、十一月二十日

地域福祉基金積み立て
合併浄化槽排水路整備事業
世界のりんご園整備事業
農業施設災害復旧事業
林道施設 リ
土木施設 リ
アップルブル整備事業

八、七〇〇万円
一、四九三万円
二、五二六万円
六、二〇二万円
四、三九八万円
七、一七九万円
一、〇〇〇万円

今年度も地方交付税により措置されましたので、八千七百万円の増額を図る考えです。

「ふれあいの里」の用地約一万五千平方メートルについては、用地交渉がまとまりました。造成工事は、年末までには着手したいと考えています。

消防関係については、防火水槽五基を発注済みです。また、

消防団員に対する連絡体系を充実するため、町内事業所八ヶ所に無線受令機を設置しました。

西原工業団地に、進出を計画しておりますハヤタ製作所より、長期的経営方針の見直しの結果、八月二日に進出断念の正式報告を受けました。これにより、西原工業地域の工業用地造成については、見直しが必要となり関係企業と再協議をするようになりました。

【朝日病院】
八月三十一日現在の利用患者数は、入院五千二百五十九人、外来一万五千百七十七人となり昨年同期と比較してそれぞれ減少しています。また、七月三十日現在の経常収支は事業収益用二億九百十四万一千円で差し引き六百九十二万四千円の不採算となりました。

【朝日病院】

八月三十一日現在の利用患者数は、入院五千二百五十九人、外来一万五千百七十七人となり昨年同期と比較してそれぞれ減少しています。また、七月三十日現在の経常収支は事業収益用二億九百十四万一千円で差し引き六百九十二万四千円の不採算となりました。

千円で落札され、十一月二十日の完成をめざして工事が進められています。

【朝日自然観】

入り込み客数は七月、八月の台風や冷夏の影響によりキャンセル等が発生し、八月末の前年同期と比較すると、一八%減少し五万七千人となりました。

笑顔をわやか

スポーツの秋

全開

実りの秋、食欲の秋、そしてスポーツの秋でもあります。今年は、保育園や学校の運動会を始め、昨年度のべにばな国体開催を記念して行われた「町民スポーツフェスティバル」、恒例の「町民ロードレース大会」など盛りだくさんのスポーツ行事が展開されました。

幼児から若者 お年寄りの方までスポーツを通して、さわやかな笑顔があふれる季節です。



「さあ、がんばって」(わかば保育園運動会)

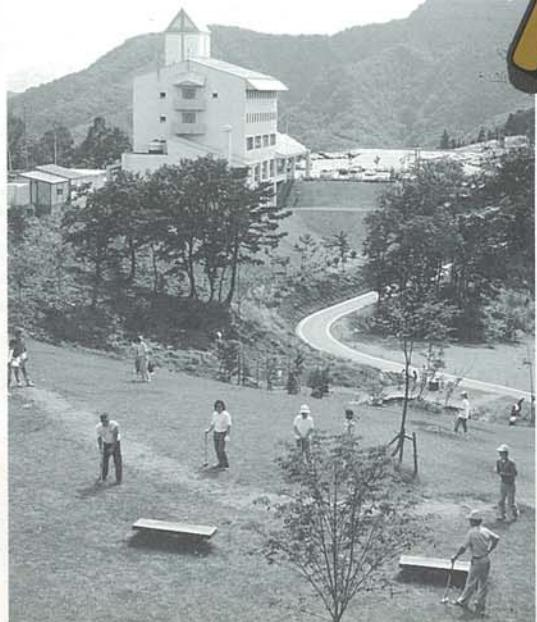


風をきって走れ (町民ロードレース大会・北部地区)

最近人気急上昇のグラウンドゴルフ
(町民スポーツフェスティバル・朝日自然観)



健康体操は楽しくやることが基本
(町民スポーツフェスティバル・町民体育館)





号砲と共に勢いよくスタートをきる（町民ロードレース大会）

「さあ、次の組へタッチ」
親子デカパンリレー（わかば保育園運動会）



名物競技の縄ない競争。若い人にとっては
ちょっとむずかしいかな（大暮山地区運動会）



ひろば

■連絡先

役場企画情報課

企画広報係へ

☎67-2111 (内222)



(株)マイニットに中国上海市のニット会社上海新益羊毛ニット社(従業員五百名)から十名の技術研修生がやって来ました。研修生たちは、日本のニット製品の製造技術を学ぶために来町したもので、ニット製品製造に十年ぐらい携わっている、三十歳前後の女性中堅社員のみなさんです。

彼女たちは、宮宿地内の社宅で自炊生活をしながら、約一年間生産技術やデザインなどの勉強をすることになります。

歓迎会が行われました。受け入

れ先の秋葉健弥マイニット社長は、「お互いの技術交流を通して、品格のある確かなものづくりに励みましょう」と歓迎の言葉を述べました。

また、マイニットでは今回の研修生受け入れを機に、将来は

中国での生産にも手を広げたいとしています。

今回の受け入れについては、全面的に町商工会が窓口となり行されました。商工会が窓口になり、外国の研修生を受け入れるケースは珍しく、東北ではまだ二例目。県内では初めてとな

ります。

九月十六日にホテル自然観で開催されました。受け入



中国から研修生

技術取得のため一年間滞在

マイニット株式会社



100歳

おじいさんに総理大臣より賀詞

敬老の日を前にした九月十三日、町内一の長寿者白田忠太郎さん(明治二十七年一月二十九日生まれ・大暮山)に内閣総理大臣より長寿を祝う賀詞と銀杯

が贈られました。

白田さんは「少し足腰が弱くなつたので、りんご畠には行かなくなつたが、家の周りの散歩は欠かしません」と、まだまだ元気な様子でした。

白田さんは、来年一月の誕生日で満百歳を迎えます。



大暮山／阿部 豊くん
(大谷小大暮山分校五年)
雄二くん
(大谷小大暮山分校三年)
阿部光良さん
(73歳)
しもさん
(71歳)

ほくのじいちゃんは、ときどきおこるけど手伝いをしたりすると、「こづかいをくれるいいじいちゃんです。

ぐあいがわるくなつたりもするけど、いつしようけんめいはたらきます。ばあちゃんも、朝の五時ころからおきてはたらいています。

二人はときどきけんかもするけど、ほんとうはやさしい人です。

これからも長生きしてください。

—豊—

隣のリラブ家族

堀ひろき (58) FUJIO



町民の

このひろばはみなさん
のページです。話題やご
意見、作品など、ご自由
にお寄せ下さい。

ひとことトーク

歌は心の栄養源

~県民大合唱 第九を歌あうに参加して~



早坂桂子さん
(大谷五・55歳)

今年四月から毎週金曜日の夜に行われた練習会には心を共にした十数名の有志が集まり、中には自分の息子くらいの年代の人も参加しました。

その最中、体調を崩した日もあり何度もやめてしまおうと思つたこともありました。みんなの励ましで最後の本番までやり遂げることができました。

『歌は心の栄養源』と話した人がいましたが、私にとってまさにその通りでした。最後までやつてこれたのもみんなのおかげと感謝申し上げます。

千五百人規模の第九の合唱つていつたいどんなものなんだろう。五十代半ばの私にとって、ドイツ語なんかは全く見当もつかないまま思い切って挑戦してみようと思ったのは、こんな素朴な興味からでした。

今年四月から毎週金曜日の夜に行われた練習会には心を共にした十数名の有志が集まり、中には自分の息子くらいの年代の人も参加しました。

その最中、体調を崩した日もあり何度もやめてしまおうと思つたこともありました。みんなの励ましで最後の本番までやり遂げることができました。

『歌は心の栄養源』と話した人がいましたが、私にとってまさにその通りでした。最後までやつてこれたのもみんなのおかげと感謝申し上げます。

ふるさと
人記
42

長岡幸助

（郷土史ひとすじに生きた人）



昭和四年春、小学校の教員になつてから四十数年間、町内外の学校を歴任して各集落の地理や歴史を探査し、伝説や地名の収集研究も手がけていた。

明治四十二年一月三日、高田の農業長岡清・よの夫婦の長男として生れた幸助は、祖父の歴史話に刺激されて郷土史に取りつかれ、各地を探訪しては記録し、数冊の本を出版している。

昭和五十二年から町広報委員を十年、その間に編集委員と副委員長もつとめた。彼が広報に連載した記事を集録して、朝日町広報委員会で編集・発行した「ふるさと朝日町散歩」（昭和六十三年）は、その勞にむくいるための企画であつた。

ひたすら郷土を愛し書きつけた彼のしたたかな執念は、ふるさと朝日町への崇高な奉仕であつた。平成五年九月十五日に力尽きて逝去。享年八十四歳。

文・杉ひさし

今井敦子さん（宮小6年）が 全国作文コンクールで入賞



助全国国防犯協会連合会、(社)全国少年補導員協会、読売新聞社の主催による「第二回全国小学生作文コンクール『わたしたちのおまわりさん』」で、宮宿小学校六年の今井敦子さん（新宿）が高学年の部でみごと読売新聞社賞（第三位）に輝きました。

敦子さんの作文は、学校からの帰宅途中道路の側溝から一千円札を拾い、交番に届けるまでの様子や届けたときの気持ちを素直に表現している内容です。

敦子さんは「副賞にいただいた図書券で、大好きな本を買えるのがとてもうれしいです」と喜びを話してくれました。おめでとうございました。

山形県青年海外派遣事業の報告から 豊かな国・アメリカ

第三回山形県青年海外派遣事業は、アメリカのコロラド州へ九月八日から十五日まで三十名が参加し、六泊八日の日程で行われました。朝日町からは志藤一枝さん（川通）と鈴木高光さん（元町）の二名が参加。お二人の帰町報告を紹介します。



西澤信雄さんに (西原) 環境庁自然保護 局長賞

ボランティアの心

ともいえる、ボランティア・マインドを体験できることに大変満足しています。産業班、教育班、文化スポーツ班、医療班のこの事業における私の唯一の願望であった、アメリカ人気質



朝日連峰の自然公園指導員として、山の動植物の保護に頑張っている西澤信雄さん（西原・45歳）に環境庁自然保護局長から功労記章が授与されました。

滋賀県生まれの西澤さんは脱サラし、昭和五十年から朝日鉱泉に移り住み、その年から自然公園の指導員として活動を始めました。旅館業の傍ら、二ホンカモシカの生息実態調査や子供達の自然観察会の開催など、自然保護と環境教育に熱心に取り組んでいます。

大相撲の白田（序二段） 勝ち越しの報告

大相撲九月場所で、序二段の東四十九枚で六勝一敗と大きく勝ち越した白田（二子山部屋・本名白田健さん・23歳）が9月29日、清野町長を訪れました。

今場所の白田は、三場所前の幕下西三十六枚目の本場所中に右手首を骨折したため、しばらくぶりの土俵となりましたが、188センチ、160キロの体を生かしたパワーあふれる取り口で見事勝ち越しました。

次回の九州場所では、三段目の八十枚から九十枚の番付が予想されるなか「まずは勝ち越しをめざしたい」と控えめに話す白田ですが、その表情には余裕が感じられました。



四班からなる、三十名の団員の要望をすべて消化できるよう、中身の濃い企画をして下さったY.M.C.A.のスタッフの皆様に、心から感謝いたします。ホストファミリーの我が家子にも勝るような歓待や、教会の日曜学校における子供達のボランティア活動など、数々のボランティア・マインドに触ることができました。



民泊の家族と。志藤さんは右から2人目

中で、アメリカ人のボランティア精神を見せつけられ、感激と共に、今が自己改革の時だと気付かされました。

これを機会に、地域社会に目を向けて、アメリカの雄大な自然のアメリカの美しさを見つける機会になりました。

私たちが訪れたコロラド州は、アメリカ中西部(秋田と同緯度)に位置し、日本と同程度の面積を有しています。州都デンバー市は、近代的高層ビルが立ち、その中に豊かな自然がある美しい街でした。

私は様々な情報から知るアメリカという国に、一種の憧れを抱いていました。実際私が体験したアメリカは、光と陰が同居する複雑な国でした。

アメリカン・ドリームという言葉はほとんど死語になつていて、貧困・失業・離婚・麻薬・エイズといった重

い心から感謝いたします。ホストファミリーの我が家子にも勝るような歓待や、教会の日曜学校における子供達のボランティア活動など、数々のボランティア・マインドに触ることができました。

Y.M.C.A.のスタッフの皆様に、心から感謝いたします。ホストファミリーの我が家子にも勝るような歓待や、教会の日曜学校における子供達のボランティア活動など、数々のボランティア・マインドに触ることができました。

ホストファミリーとの再会を誓っての、別れの涙は一生涯忘されることはないと思います。コロラドよ、貴重な体験をありがとうございました！

志藤一枝（川通）

アメリカの 光と陰

私たちが訪れたコロラド州は、アメリカ中西部(秋田と同緯度)に位置し、日本と同程度の面積を有しています。州都

デンバー市は、近代的高層ビルが立ち、その中に豊かな自然がある美しい街でした。

私は様々な情報から知るアメリカという国に、一種の憧れを抱いていました。実際私が体験したアメリカは、光と陰が同居する複雑な国でした。

アメリカン・ドリームという言葉はほとんど死語になつていて、貧困・失業・離婚・麻薬・エイズといった重



デンバー市の自由市場。鈴木さ

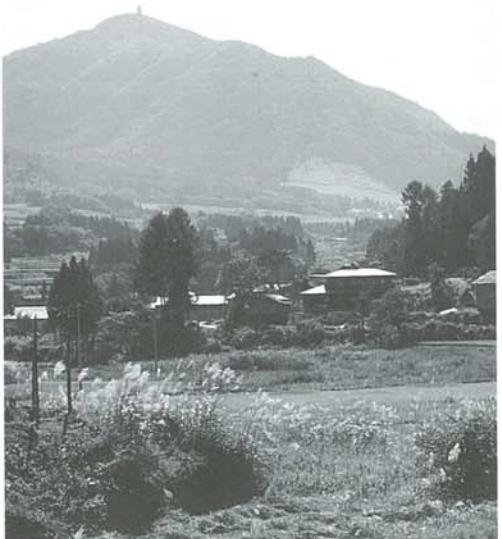
ふるさと
めぐり
(39)

白鷹山のふもと 境の集落

水本

最近の登山者について西澤さんは、「二十年前と比べてマナーは格段によくなっています。し

かし、キャンプによる裸地化が心配の種です」とテントを張る際の注意を呼びかけています。



目の前に白鷹山を拝する

五郡の境として知られる、標高一、〇〇〇メートルの白鷹山。その山の西側山麓に位置する水本地区は、送橋川で山辺町と接する上芦沢集落と旧水本小学校跡地付近で山辺町、白鷹町と接する接待集落とからなっています。

夏になると川沿いの集落では、螢が群れをなして飛び交う姿が見られます。集落西側の高台には、昭和十九年に宮宿方面の農業用水として造られた長谷地と呼ばれる沼があります。当地区は大変農業の盛んな土地で、昭和四十二年に上芦沢の養蚕団地や接待のホップ園地がつくられ、組合法人で経営されました。現在は個人経営に移行したり、廃業になっています。

しかし、農業に取り組む意欲は衰えることなく、近年長谷地付近にりんご園地が造成されました。標高が高いため、実の堅い良品質のりんごが生産されています。（渡辺豊文広報委員）

おとしよりが健康であれば、みんな家族の幸福につながることは言うまでもありません。ある新聞の言葉を借りれば、びんびん健康に暮らし、終わりをまつとうする。頭文字をとれば「PKO」。望ましいことではあって難しくどうしても家族の援助が必要になります。じのうな援助をすれば良いか、家族としての役割を考えてみたいと思います。

老人と健康

一般に健康というのは、自分自身健康だと感じ、だれが見ても、身体と精神が、(社会に適応していけるかどうか)共に障害のない状態といえます。これに対し、老人の健康な状態とは、

たとえ何らかの疾患はあっても日常生活の中で身体に気を付け、薬を飲むことによってコントロールできる状態であり、自分の身の回りの事が出来る。また、

おやふうのすすめ

おとしよりの健康を守る 家族の思いやり

世代交代

他人事ながら、割りきれない思いで車を運転していると、まるで心を見透されたように、道端に、それ程大きくはないので



『老い』はだれもがとおる道

さびしそうな あばあちゃん

最近、少し離れた親せきに行つた時のこと、一緒にお茶をごちそうになつていた近所のおばあちゃんが、「ごはんの用意、すねたてえくなつたんだはー」と、

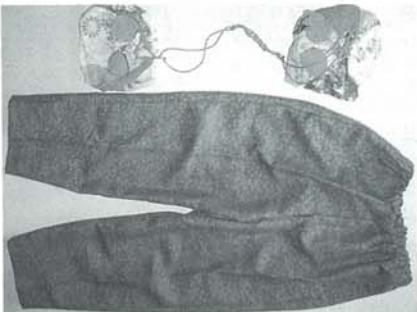
まだまだ何か出来そうな様子にみえましたが、それぞれ家庭の事情もあるのだろうと思いながらも、割りきれない気持ちが残りました。そのうち、同じような話を、何回か聞いたことを思い出しました。それぞれ一様に、仕事から解放された安心感とは違う言葉のニュアンスのように思いました。

第26回町民ロードレース大会
(9/26・大谷地区)
■小学男子／①安藤秀也(松原)②高山知幸(高田)③鈴木秀和(西船渡)
■小学女子／①長岡梢(大町)②大沼あゆみ(前田沢)③菅井真衣(沼向)
■中学男子／①鈴木陽彦(大隅)②阿部春樹(常盤)③志藤清隆(川通)
■中学女子／①鈴木佐江子(元町)②佐藤玲奈(小原)③伊藤麻希(助ノ巻)
■高校・一般男子(5 km)①岡崎裕(アサヒニクニ)②宮本建一(西船渡)
■高校・一般男子(10 km)①海野宏行(送橋)②齊藤和彦(杉山)
③早坂健一(大谷五)

第9回朝日町高齢者グートボーラ大会
(9/27・西部グラウンド)
①栗木沢②四ノ沢③能中④太郎

がんばった
人に





86歳のおばあちゃんの手づくりズボンと巾着

すが、「世代交代」という四文字が、目に飛び込んできたのです。ほんとに偶然のことでした。私は、とつさに「これかな?」と思いました。このことなら、生あるものすべてに起こる現象で当然のことかな、という思いがあります。会社の定年制も世代交代の一例であり、退職した日を境に、その人の功績は残されてもその人はいなくなる訳ですから、その点では、はつきりしました世代交代と言えると思います。

しかし、家庭においては難しい面がたくさんあり、そうはいきません。先程のさびしそうな族の事を考えながら、献立を考え食事をつくるのは、自分の役目だとがんばってやっていたと思うのです。それがある日突然、まるで引導でも渡されたようで、本当にさびしかつたのかもしれません。

いま、お年寄達は老人大学などでいろいろな勉強をしています。健康で長生きする方法なども、たくさん勉強しています。それを日常生活に生かすのは、もちろん本人ですが、より効果的なものにするには、家族の理解が必要です。ある医者のこんな記事がありました。

以前は腰や足が痛いと言つて、病院に来る老人に、休むようにとつては、自然に行われてい

ません。食事の準備はしなくて、軽い仕事でほかにすることも、たくさんあると思うのですが、はたくさんあると思うのですが、がいにつながっていたとすれば、何ともさびしいことでしょう。役割の交代一つにしても、本当に難しいものだと考えさせられます。

ストレスが薬とは

ある新聞に、「軽度のストレスは、ある種のホルモンを分泌し、脳の働きを刺激する。将来ストレスを起こさせるほけの治療薬が開発されるかもしれない」との記事がありました。世間一般に「何もしないでいると早くぼける」とはよく言われる事ですが、ぼけの原因は様々でも、一つには、こんなところに根拠があるのかもしれません。

こんな例があります。近所の九十歳を越えられた方が、用事で家にこられた時、「服どうぞ」とお茶をすすめたところ、家でホップもぎをしなくてはならなかからと、早々に帰られました。これだけの事ですが、私は大変感動しました。高齢になられてもなお、家の仕事を手伝わなくてはと思う心と、その気持を尊重し、家族の一員として一緒に

ストレスが薬とは

ストレスが薬とは決して言わぬことをやります。しかし、私はこの光景にほのぼのとしたものを感じるのです。大部分の人は、いくつになつたりをやつたり、山菜の時期ともなると、好きな老人は、つえをつき腰を曲げながら山に入り、は、「ぼけ」の人が大変少ないそうです。このことから学ぶことは、足腰が痛いといえば、家族はとかく仕事をやめさせようとはしがちですが、生理的痛みの原因から考えても、無理のない程度に動かした方が良いし、何よりも、自分にもまだまだ出来る

ストレスを起こさせるほけの治療薬が開発されるかもしれない」という満足感が得られるのが効果目なのでしょう。

家族としての役割

これはおばあちゃんにしかできないとか、おばあちゃんが作ったものが一番おいしいとか、そういういつたものを尊重し、力を発揮してもらうというのもいいとおもいます。さらに、その方法、味付けなどを教えてもらい、それをわが家の伝統として伝えていかれるように努力すれば、お年寄も大満足でしよう。要するに、お年寄が今まで出来ていたことが出来なくなつたさびしさ、役目が終つたさびしさを家族ぐるみで思いやることが何よりも大切だと思います。

平成5年度 山形県民芸術祭協賛 等29回 朝日町芸術文化祭の案内

- ・期 間 11月3日(水)～4日(木)
- ・会 場 町中央公民館・町民体育館・西、北部公民館・真中公民館
- ・テ マ 「自然・ふれあい・文化の町」
- ・日 程 11/3 10:30～芸能発表会
19:00～移動芸能発表会(真中公民館)
- ・主 催 朝日町芸術文化協議会・朝日町教育委員会





●松原／安藤 克幸さん
ひろみさん

やわらか
新婚

ちょうど一年前、寒河江の居酒屋で出会った二人。ひろみさんはおもしろい人だなあ。克幸さんは、笑顔がかわいいとお互いに好印象だったようです。デートはもっぱら中間点の寒河江で。二人にとって、寒河江は忘れられない思い出の場所になりました。

子供は、最低でも3人は欲しいという二人。笑顔の素敵な二人には、明るい賑やかな家庭が築けることでしょう。

力仕事の克幸さんは、漬け物が大好き。お母さんに教えてもらって、おいしい漬け物を早く食べさせてあげて下さい。
(村山敏子広報委員)

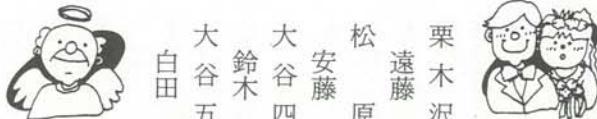
こせきのまど



区名 松前田程 太郎一 本四ノ沢 町向 夏草 沼大谷一 草西

出生見氏 三浦 佐竹 佐木 鈴木 鈴木 鈴木 齊藤 吉田 鈴木 安藤 鈴木 白川 長岡明あ 達花か日す光由廣安鳳達香花太郎保ほ香か汰な優文莉華か貴き太た名

父名 父名 浩一 栗木沢 和則 仁和寺前 公代 東根市 市山形



(出生届) (婚姻届)

区名 下芦沢 渡邊正樹 功一

死亡者氏名 鈴木すげの 阿部正明

白沼倉 佐竹ふつゑ 小林安雄 昭治

死亡届

区名 下芦沢 渡邊正樹 功一

死亡者氏名 鈴木すげの 阿部正明

白沼倉 佐竹ふつゑ 小林安雄 昭治

■町社会福祉協議会へ寄付
・太郎二の松田俊子さんより現
金十万元をいたしました。
・今年めでたく米寿を迎えた
た川村ちとせさん(大谷二)よ
り、ちとせさん手づくりの雑
ん六十枚をいただきました。



・福祉協議会内に設けられています。
・連合婦人会より十六万八千二百
円、民生児童委員協議会より
三万五千円いただきました。こ
れによって、基金の総額は百九
十六万九千五百円に達しました。
ありがとうございました。



清野町長に寄付金を手渡す海野長寿クラブ連合会長

△今年で十四回を数える「朝日
町ワインまつり」。今年も大勢の
ワインファンでにぎわいました。
飲み頃に冷やされた新酒のワイ
ンと、網焼きの牛肉は絶妙の味
を演出します。最近は参加する
人たちも慣れたもので、漬け物
やおにぎり、果物などを持ち込
み、思い思いに食欲の秋を満喫
している様子でした。△子供た
ちとお父さんの姿が目に付いた
「おはようマラソン」。日頃、あ
まり子供たちとスポーツをした
り、遊んだりできないお父さん
たちも、この日ばかりは眠い目
をこすりながら一生懸命走つて
いました。△「自然・ふれあい・
文化の町」をテーマとした朝日
町芸術文化祭が十一月三日、四
の両日開催されます。会員の日
頃の成果を発表することはもち
ろん、みなさんも展示作品や芸
能に触れ、芸術の秋を楽しんで
みてはいかがでしょうか。(K)

人口と世帯数

●平成5年9月30日現在

人口	10,260(増9)
男	5,095(リ4)
女	5,165(リ5)
世帯数	2,533(増4)
() 内前月比	

春 夏 秋 冬

編集後記

まり子供たちとスポーツをした
り、遊んだりできないお父さん
たちも、この日ばかりは眠い目
をこすりながら一生懸命走つて
いました。△「自然・ふれあい・
文化の町」をテーマとした朝日
町芸術文化祭が十一月三日、四
の両日開催されます。会員の日
頃の成果を発表することはもち
ろん、みなさんも展示作品や芸
能に触れ、芸術の秋を楽しんで
みてはいかがでしょう。(K)

